

ブース番号

6

公益財団法人 日光社寺文化財保存会

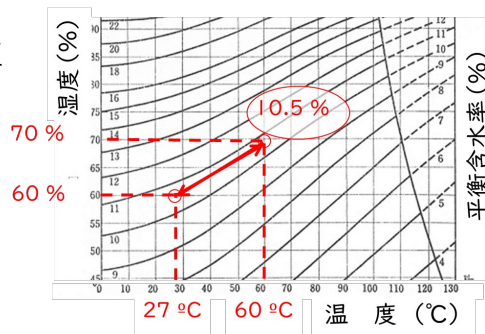
展示内容

湿度制御温風処理による文化財建造物における虫害駆除

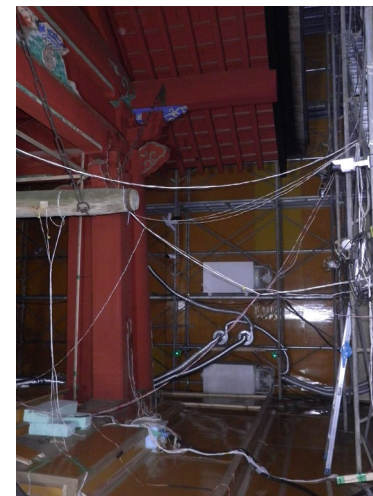
詳細

湿度制御温風処理法では、建造物の周囲に断熱・気密性の高い覆い屋を設置し、内部の温度を徐々に60℃まで加湿・昇温させ、一定期間保持した後に徐々に除湿・降温させます。60℃の期間に、生息する加害昆虫が死滅します。また木部の含水率変化とそれによる収縮・膨潤を防ぐために、初期時の含水率によって決まる平衡含水率曲線に沿うように雰囲気温湿度を制御します。

保存会では、2013年からの基礎研究や開発を経て、3件の検証を行い、この手法を文化財建造物に適用させることができました。2023年年には輪王寺護法天堂解体材を、また2024年には東照宮御仮殿鐘楼に本手法を適用しました。



湿度制御温風処理法の原理
(上) と、東照宮御仮殿鐘楼の
処理での覆い屋内の状況 (右)



関連情報

<http://www.nikko-bunkazai.or.jp/>
<http://www.onnpuu-hub.com>